

マメ入れ合戦 Bean-filling battle

2月

【豆まき】

節分の晩、家ごとに大豆をいり、これをます升に入れて神棚に供えたのち、一家のあるじなどが「鬼は外、福は内」と唱えながら家の出入口や各部屋にまいていく行事です。まき終わると自分の年齢の数の豆を食べます。室町時代に京都で行われていたということが載っている文献もあるようです。

一般には災いを象徴する鬼を豆で打って追い払う行事であると考えられています。

※窒息・誤嚥の事故が懸念されるので、2021年1月に消費者庁から5歳以下の子どもには豆・ナッツ等は食べさせないようにという注意喚起が出されています。



あそんでみよう！

【準備】

- ・体育館など広い会場を借用する。
- ・竹かご、または肩紐を付けた段ボール箱を用意する。
- ・鬼用のお面を複数用意する。
- ・新聞紙(大量)の見開きの半分を丸めて、新聞紙ボールを作っておく。(子どもたちと一緒にやるとよい)※使用後は広げて古紙回収に出すとよいでしょう。

【進め方・ルール】

- (1) 2チーム作り、各チームで一人の鬼役を決め、背中にかごを背負う。
- (2) 豆の代わりに新聞紙を丸めたものをたくさん用意し、鬼役以外は新聞紙を「鬼は外、福は内」と言いながら、相手チームの鬼のかごに入れる。
- (3) 鬼は逃げ回ってよいこととし、制限時間(3分間程度)内に、相手の鬼のかごにより多くの新聞紙を入れることができたチームの勝ちとする。
- (4) 終了後は、本物の豆を年齢の数だけ食べよう。

※鬼も他の人も走らない設定で実施すると安全である。もちろん広い会場であれば、走ってもOK。

※鬼は各チーム複数設定でも可能。チーム数が3以上でも可。

※豆のまき方は上手が基本ですが、高学年は下手投げだけとか制限を付けてもいいかも。



鬼の背負ったかご(段ボール箱)に新聞紙ボールを入れる



新聞紙ボールを数える